

湯沢町保健医療センターを

独自性のある長期療養型リハビリ病院に

一
般
質
問

診療所より生まれ変わった保健医療センターが三年を迎えようとする今、常設診療科目に一部不満が有るにせよ、地域医療の拠点として好評を得ている事は町としても好ましい事である。

特に保健医療センター、健康増進施設、総合福祉センターが一体となり、高齢化社会に対応していく事は益々重要であると思えます。

そこで今後の保健医療センター運営に関して振興協会にどのように対応していくのか。



湯沢町保健医療センター
リハビリテーション室

質問
常設診療科目の設置要望について

町長答弁
整形外科、小児科の常設については要請中であるが、町民が安心して受診出来るよう再度要請します。

質問
独自性のある病院とするため、温泉を利用したリウマチ神経痛等にも対応出来る、長期療養型リハビリ病院には出来ないのか。

町長答弁
長期療養型リハビリ病院にするには、新たに介護老人保険施設を建設する事や、施設の用途変更が必要であるので無理だ。

現在の温泉はデイサービスや健康増進施設で使用し、病棟では使用されていない。湯沢病院の入院状況は、一般病棟では平均28日以内、療養病棟では180日以内とされているのが現状です。

質問
湯沢町保健医療センター運営審議会が、医療、福祉、予防保健の連携の推進等にどのように機能しているのか。

町長答弁
運営審議会は3回開催され、トイレのウォッシュレット化や玄関のベンチ設置、整形外科常設問題等の審議がされた。又予防保健の連携推進問

題等では、町民団体検診等で要精検者の二次検査や、一般検診、人間ドック等が実施されている。

小学校、保育園の統合について

湯沢町が誕生して50年が経過しています。旧五ヶ村の学校はそれぞれに新設され、現在立派に活用されています。

又保育園も同じような経過を辿っていますが、年々少子化が進む現状では、当町も近い将来に学校規模の適正化に向けて広く地域で論議しなければならぬものと考えます。

又町財政問題をからめても重要課題として浮上してくる事は間違い有りません。町の考えを伺います。

質問
統合についての基本的な考えはどうか。

町長答弁
保育園は地域の基本的なコミュニティの場であり、子育て支援の重要な拠点でもあるので、適正人員は必要ではあるが、少子化が進んだからと言って簡単には統合する事は出来ないし、小学校統合についても、財政健全化や事業見直し等で浮上して来たが、地域にとって、保護者にとって、子供にとっても重要であり、どうあるべきかを論議しながら検討しなければならぬ。

質問
統合問題に関する委員会の設置や、時期の考えはどうか。

町長答弁
まだ地域には話してないので、その時は地区PTAやPTA連絡協議会等の多くの意見の集約をしなければならぬと考えます。



森下昌次